



2023年5月12日

各 位

会社名 双葉電子工業株式会社
代表者 代表取締役社長 有馬 資明
(コード番号 6986 東証プライム)
問合せ先 執行役員 中村 正行
業務管理本部長
T E L 0 4 7 5 (2 4) 1 1 1 1

通期連結業績予想と実績との差異および特別損失の計上に関するお知らせ

2022年11月11日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想数値と本日公表の実績数値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、特別損失の計上について、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値と実績数値との差異について

(1) 2023年3月期通期連結業績予想数値と実績数値との差異 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	60,000	△2,000	△500	△3,900	△91.94
実績値 (B)	60,326	△2,387	△1,134	△3,499	△82.51
増減額 (B-A)	326	△387	△634	400	—
増減率 (%)	0.5	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (C) (2022年3月期)	53,450	△1,863	△654	△2,668	△62.92
増減額 (B-C)	6,875	△523	△479	△830	—
増減率 (%)	12.9	—	—	—	—

(2) 差異の理由

【経常利益の減少要因】

生産器材事業では、国内における価格競争の激化および韓国での鋼材価格が想定以上に高騰したことに対して売価への転嫁に遅延が生じており、また、品種構成の変化とインフラ関連のコストも上昇したことから営業利益が減少いたしました。この営業利益の減少に加えて、第3四半期連結会計期間以降の為替レートが当社想定1米ドル140円に対して円高に推移したことなどから、経常利益は前回予想値を下回る結果となりました。

2. 特別損失の内容

電子デバイス関連事業および生産器材事業において、事業環境および今後の見通しを勘案し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討いたしました。その結果、固定資産の一部について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当第4四半期連結会計期間において、375百万円を減損損失として計上いたしました。

以 上